

新型コロナへの対応と

総括質疑

委員会審査

討

論

審議結果

特

集

一般質問



カーフェリー「あかね」に代わり令和3年4月29日に就航したジェットfoil「ぎんが」

佐渡汽船株式会社への支援

積算根拠と小木直江津航路に対する考えは？



小木直江津航路の維持に向け、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した輸送人数に応じた運賃収入相当額を、佐渡汽船株式会社に支援するための補正予算が提案されました。

※関連記事8ページ

問／佐渡汽船株式会社に対する小木直江津航路維持に向けた支援金約2億4千万円の積算根拠を聞きたい。

答／小木直江津航路の年間輸送人数5万1千人について、4月から7月までの計画人数と輸送実績との差の割合を求め、その割合をコロナ禍による影響とみなして、年間輸送人数5万1千人に乗じた人数、およそ3万5千人に片道運賃相当額を乗じた額を支援額の上限とした。

問／今後の小木直江津航路をどう考えているか。

答／同航路は、佐渡市民の生活航路として、また、当市及び新潟県の広域観光を支える観光航路として重要な航路であり、今後予定される佐渡金銀山の世界遺産登録や北陸新幹線の敦賀延伸、ポストコロナに期待されるインバウンドなどにより利用の増加が見込まれる中、当市としてもこの航路を維持していかなければならないと考えている。



佐渡汽船のりば